

GERMAN PHYSIKS

HRS 120 Carbon

DDD SPEAKER SYSTEM

ジャーマン・フィジクス

HRS 120 Carbon

¥2,900,000 /pair (税別)

**妥協を一切排除した、渾身のHRS120フルチューンモデル！！**

電気信号が機械振動に変換され、その機械振動が25 μ という超薄のチタン箔ダイヤフラムにより、まったくストレス無く空気に伝わり音に変換される。しかもその音は、まったく無理の無い状態で360度全方位に拡散する、このDDDユニットの特徴により、ひずみ感の少ない透明な音が、スピーカーの周りに波紋のように広がる。この爽快な音場感は、まさにDDDユニットの真骨頂です。

このジャーマン・フィジクス独自のベンディングウエイブユニット(DDDユニット)を250Hz以上に使用した2way方式の最新モデルがHRS120 Carbonです。

HRS120 Carbonは、HRS120をすべてにおいてブラッシュアップ。エンクロージャーにはカーボン繊維を用い、不要な鳴きを徹底的に排除しています。また、DDDユニットは十分にエージングをした後、一組の左右のスピーカーの音のバランスが完璧に合致するようにマッチングをとっています。さらにそのDDDユニットの微妙に異なる周波数特性を考慮し、ベストマッチするウーファーを選別し取り付けられています。そのウーファーもHRS120 Carbon専用カスタムメイド。Focal製のポリグラスコーンの内部に制動材を充填したサンドイッチ構造を採用しています。さらに、クロスオーバーも使用する素子を厳密に測定・選別して、特性のマッチングをとった物を使用するなど、全ての面において妥協を一切排除した渾身のフルチューンモデルが完成しました。結果、驚くほどS/N、音離れが向上し、一点の曇りもない、全帯域にわたって極めてハイスピードな音を実現。レギュラーラインとは一線を画します。

新開発キャビネットと新採用のベースドライバーでDDDユニットと同質の音を確保！！

DDDユニットの特筆すべき点は音楽信号に対する反応スピードが非常に速いことです。しかし、従来のキャビネットに組み入れたサブウーファーやベースドライバーではDDDユニットの速さについていくことができず、音のキャラクターが100%同質にはなりません。したがって、低域の音が常に遅れているような印象を与えてしまいます。

「HRS」シリーズでは、既に長い年月をかけて設計した今までのキャビネット構造を根本から見直しました。最先端のコンピューターシミュレーションによるパラメータを使いながらキャビネット構造を新設計。DDDユニットの優れた音質に合致するように新採用のベースドライバーを用いて、ヘルムホルツ共鳴を最適化。このキャビネットとベースドライバーの組合せが、ダイナミックで非常にクリアな、且つ、ハイスピードで深く伸びる低域を再生します。また、大型スピーカーにあるような濁りは皆無で、DDDユニットと同質の音を確保しました。

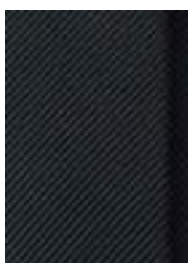
全帯域にわたって360°完全無指向性の爽快感！！

HRS120 Carbonでは、250Hz以下の低音域の再生に20cm口径のウーファーを使用しています。このドライバーをキャビネットの下部に下向きに取り付けて底部に向けて音を放射することで、ウーファー部も無指向性としています。このことにより、全帯域が無指向性となり、セッティング位置にそれほど厳密にならなくとも、広いエリアで十分なステレオイメージを得ることができる鳴らしやすいスピーカーシステムです。また、ルームアコースティックの状態により、高域特性を4段階のレベルで調整することが可能です。

(-2dB,flat,+2dB,+4dB,/ジャンパーピン差し替えによる)

抜群の強度と剛性、まさに理想的なエンクロージャー！！

HRS120 Carbonのエンクロージャーは、その名のとおりカーボン繊維。繊維を緻密に編組し、さらに高硬度強度高分子樹脂で固化することによって、他に類のないほどの高剛性を達成し、さらにこれをウッドとの積層構造に組み上げ、高剛性と適切な内部損失を保有する、まさに理想的なエンクロージャー素材が完成。余計な鳴きのない、極めてS/Nの良い音に貢献しています。



Carbon

ベンディング・ウェイブ方式について

通常のピストンモーション振動板が空気に対してエネルギー伝達を行うのは基本的に一入力に対し一回のインパクトしか与えることができないが、ベンディングウェイブでは振動板表面を弾性波が進行している間、空気にエネルギーを伝達し続ける。スピーカーシステムの性能、音質は究極的にはエネルギーの変換効率によって決定されるものである。エネルギー伝達効率の上昇という根本的な原理の改善を、自然界に普遍的に存在する方式によって可能にしたのがDDDユニットである。DDDユニットは、現時点において「源流に最も近い」トランスデューサーということができる。

SPECIFICATION

再生周波数帯域	29Hz - 22,000 Hz
最大許容入力	220W/170W (瞬間/連続)
能率	87dB/2.83V 1m
クロスオーバー周波数	250Hz
インピーダンス	4
高域特性コントロール	-2、0、+2、+4(dB)
外形寸法・質量	W 320 x D 320 x H 1145 mm 29.7kg